

平成 27 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016 年 3 月 25 日

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座 准教授
氏名 Name	池田一人
専門分野 Academic Field	ビルマ史、ビルマ地域研究

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ビルマにおける民族社会の形成過程に関する歴史研究
<p>平成 27 年度の研究計画書において策定した研究テーマは、第一に 19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのビルマにおける「民族」という社会単位の発現・定着過程をカレンとビルマ民族を事例に解明する歴史研究を行うことであった。</p> <p>この研究テーマについては①仏教徒ポー・カレン文字の成立過程とプー・タマイッ伝説の再検討と、②ヤンゴンにおける民族僧院の成立過程に関する研究という 2 つの課題を設定し、とくに①に資源を集中して取り組んだ。基本的な文献調査を継続し、平成 27 年 3 月に 2 週間ほどの現地調査をミャンマー南東部のカレン州バアン平野において行った。</p> <p>年度冒頭に設定した第二の研究テーマは、20 世紀前半ビルマにおいてカレン民族をめぐって展開した民族知形成・民族政治・民族意識形成に関する歴史研究という、従来取り組んできた主要な研究課題をまとめる作業である。そのうち、本年度は①タキン史観の流布・作用過程の解明に関する論文執筆、②独立交渉期ビルマのカレンをめぐる民族政治についての論文英語化の可能性探求という 2 点に取り組むこととした。①の執筆は遅延しており、来年度の紀要論文として実現を目指す。②は論文の英語化予算を取得して発注する方向で取り組んでいる。</p>	